

村田 昭 議員

食育は
議員 地産地消の中で、学校や保育所での作物生産体験などが食育推進の場と考えられるが、今後いかに進めるか。

学童農園設置事業で
農林課長 生産収穫体験を行う事で、食育や食習慣のしつけになると思う。また学童農園設置事業を展開したい。

レジオネラ対策は

議員 町には循環式の温泉・浴場施設があるが、レジオネラ症の衛生管理が十二分にされているか。

徹底した清掃と塩素殺菌で
農林課長 「尖山UFO温泉」「吉峰ゆーランド」「町老人福祉センター」はともに塩素殺菌しており、残留塩素濃度が国の基準値の範囲内になるよう管理し、浴槽の



徹底した清掃を行っている。

議員 要支援や要介護の方々の介護予防計画の作成が、民間から市町村に移行するという国の指針があるが、今後どのような問題が出るか。

健康福祉課長 確定的な事は言えないが、従来の業務の上乗せになり、人的配置や経費面で負担増、体制の充実やサービス内容の見直し、また移管に伴い民間事業者の処遇問題等々、今後情報をもとに研究したい。



マリ共和国への支援米の刈り取り(北部小)

村井隆夫 議員

カンファク 韓国江北区との友好親善締結を

議員 韓国・江北区との友好親善締結は早期にできないか。

来年度中に

町長 7月12日から16日にかけて江北区から、キム区長シン議長ら9名が来町されたのを受け、立山町議会からも9月2日から4日まで江北区を訪問し、議会同志の交流を推進された。感謝したい。

友好親善の締結は来年度中を目指している。

立山のPRを

議員 立山黒部アルペンルート、夏・秋の立山を、江北区の皆さんに紹介、PRを。

韓国語版パンフレットで町長 雪の大谷ウオークや登山、紅葉の四季を、韓国語



版パンフレット・ポスターを通して積極的にPRしたい。議員 〆あなたが見つけた立山町 写真展は、これでよかったのか。

社会教育課長 昨年4月、町展実行委員会、町制施行50周年記念事業としての写真展開催が検討された。募集期間を1年間とし、広範囲でのPR、公開での写真家による第2次審査を行った。

これからの予定としては、町展での展示、郷土資料館での優秀作品の展示、そして、入選60点を掲載する写真集を発刊し、立山町の素晴らしさを認識して欲しい。



江北区議会にて

町田信子 議員

公用車にもパトロールステッカーを

議員 パトロールカー導入に伴い公用車にもパトロールステッカーを。

一部の公用車で

町長 防犯用ステッカーを公用車に取り付けることについては、当該車両運行の目的と公務効率を見ながら、一部の公用車にパトロールステッカーを貼る方向で検討したい。

高齢者の災害対策は

議員 高齢者などの「災害弱者」の緊急の対策は万全か台帳の作成を

助役 「災害弱者」が安全で安心して暮らせるような災害マニュアルの構築も考慮し、総合した台帳の作成を検討していきたい。



議員 ケーブルテレビの利用者に対するサービス(緊急対応)が遅れている。企画情報課長 現在加入している者は、Net3全体で12,335世帯である。そのうち立山町では4,805世帯が加入している。今後は落雷や台風など事前には、あらかじめ職員と作業班が緊急事態に即応できる体制をとっていききたい。



環境にやさしいハイブリットカー 2台購入

米田俊信 議員

コミュニティーバスの適時運行を

議員 中学生が利用しやすいよう安全でかつ利便性の高い交通機関として活用すべきではないか。

関係者の理解が得られれば

町長 中学生が、毎日、定期的にコミュニティーバスを利用出来る形態が、大変望ましいことである。しかし、町内の中学生の数を考慮すれば、現在保有しているバスだけでは、とてもまかなえるものではない。

町では、保有しているスクールバス等をコミュニティーバスに活用する方法について検討している。関係者の理解が得られたら、コミュニティーバスの運行を全面的に見直し、公共交通不便地区の中学生も利用しやすい運行形態に変えたいと考えている。



コミュニティーバス

議員 一般県道岩崎寺大石原水橋線の進捗状況は。建設課長 県が延長760メートル、幅員12メートルの二車線片側歩道で整備する。進捗状況については、平成15年度までに用地測量を完了しており、平成16年度は用地買収及び当地区が埋蔵文化財の包蔵地であることから、試掘調査を実施し、調査が完了した箇所から、道路改良工事に着手されると聞いている。